

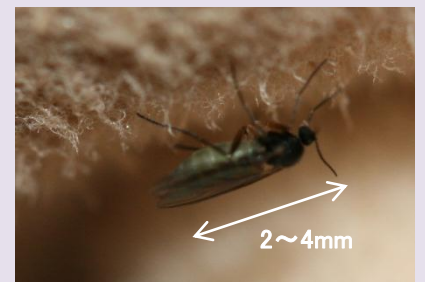
菌床シイタケ栽培の害虫防除

群馬県林業試験場きのこ係

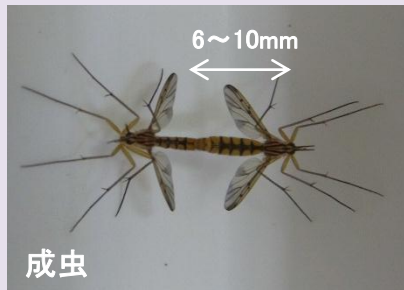
県内では、自然環境を活かした省エネ型の菌床シイタケ簡易栽培施設が主流です。低コスト、かつ無農薬で安全なシイタケを作るうえで、害虫は避けることのできない問題となっており、林業試験場では生態調査や防除方法の開発に取り組んでいます。

県内で被害が多い主要害虫

県内で菌床シイタケ被害が多い主な害虫です。ほとんどがハエやガの仲間です。これらの幼虫が子実体や菌床を食害します。



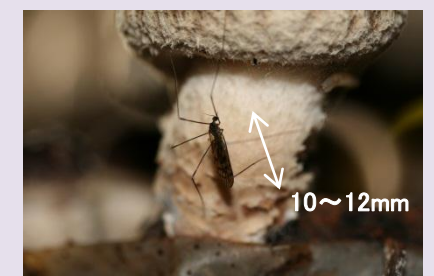
クロバネキノコバエ



ナガマドキノコバエ



ムラサキアツバ



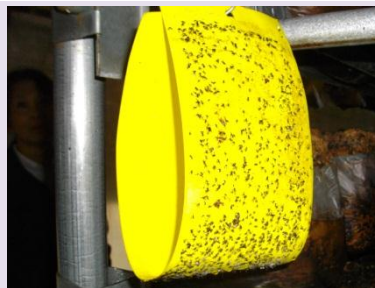
ガガンボ

防除方法

害虫は複数種が同時に発生するので、防除方法を組み合わせると効果的です。



LED誘引捕虫器



粘着シート



光誘引捕虫器

新たな農林水産政策を推進する
実用技術開発事業No.1958「菌
床シイタケ害虫ナガマドキノコバ
エの環境保全型防除技術の開
発」(実施機関:森林総合研究所、
山口県、徳島県、群馬県、千葉
県、みのる産業(株)、カモ井加
工紙(株))による成果



温水洗浄

幼虫類は手で捕まえて
確実に捕殺します。(ピ
ンセット等の捕獲具が
あると便利です)

害虫防除のポイント

安全なきのこ栽培で害虫発生ゼロは困難です。以下の点に留意し、害虫を増やさないよう心掛けましょう。

1. 害虫の発生時期
多くの害虫は、ゴールデンウィーク過ぎ頃から活動が活発になり、暑さとともに数が増え続け、お盆の頃に成虫数がピークになります。
2. 幼虫の早期発見
発生初期から施設内外に目を配り、早期に害虫を発見することで被害を小さくします。若い幼虫は小型で、菌床上で見づらい色をしているので注意深く観察します。傘の巻き込み部やひだの隙間、栽培袋の内側等に潜んでいます。
3. 害虫を見たら捕まえる
幼虫を見つけたら、逃さず確実に捕殺します。成虫の捕獲には捕虫器等を使用します。
4. 栽培環境をきれいに保つ
害虫を寄せつけないように、5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)を実践します。施設の周囲にも、虫が住みつかないように、草刈りや廃棄物処理をします。
5. 害虫を知る
害虫の種類、特長や防除方法を知っておくと素早い対応ができます。

これから注意が必要な害虫

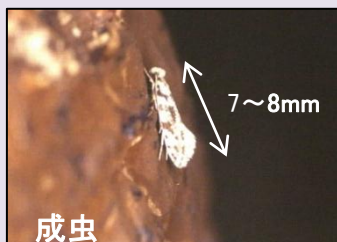
かつて原木シイタケ栽培で発生した害虫が、近年、県内の菌床栽培で被害を与え、今後の拡大が懸念されます。見なれない虫にはご注意ください。



セモンホソオオキノコムシ



コクガ



事務連絡
平成26年9月19日

各都道府県特用林産担当課長
(以下 略)

林野庁経営課特用林産対策室
課長補佐(特用林産指導班)

きのこ原木の侵入害虫の被害拡大防止について

平素から特用林産の振興に当たり、特段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、きのこ原木の安定供給につきましては、都道府県を越えての供給の実施など、全国各地で取り組んでいただいているところで、このような中、今春、西日本からのきのこ原木の供給において、原木を食害する害虫であるハラアコブカミキリが定着していない地域(東日本)に、その侵入が確認される事案が確認されました。

また、遠隔地からのきのこ栽培資材(原木、菌床等)入荷時は、害虫や異物の付着がないか注意します。

害虫に関するお問い合わせ

きのこ栽培の害虫被害や防除方法については、最寄りの環境森林・森林事務所にお問い合わせください。

また、菌床しいたけ害虫に関するパンフレット類を林業試験場で配布しています。

※コクガの写真は、パンフレット「菌床しいたけ栽培施設で発生する害虫」から引用しました。→

